

増えた市内の事業所

◎44年度事業所統計調査の結果から◎

ことしの7月1日現在で行なった「事業所統計調査」は、市民の皆さんのご協力でところどころ終りました。心からお礼を申し上げます。

前回(41年度)に行なった調査と今回の調査がいかに別表であらわしましたが、民営で470(17%)という著しい増加をみせております。

各産業とも、製造業を除いて軒並みに増えており、中でもその数が2倍に増えた飲食業や15%の増をみた卸売・小売業、60%の増になった不動産業などが注目されます。

この事業所数の増加の原因としていえることは、釈迦内地区を中心とした黒鉱開発の影響が大きいことと、この黒鉱開発に関連した諸産業が急激に集中して来たためである、といえると思います。

とにかく、3年前にくらべて、470の事業所がふえたことは、いかに市勢が活気にあふれているかを、この数字は如実にあらわしているといえるのではないのでしょうか—

44年度事業所統計調査のがい数

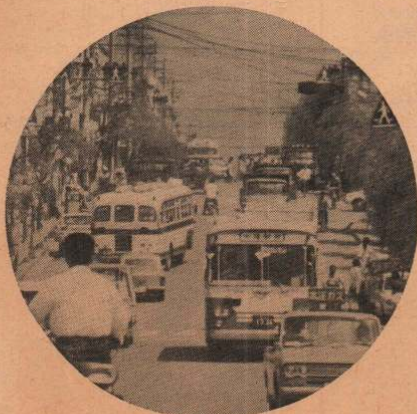
()内は41年度に行なった事業所数

| 産業分類 | 民 営 | 公 営 |
|-----------|---------------|-----|
| 飲食業 | 13 (6) | |
| 建設業 | 193 (153) | 1 |
| 製造業 | 270 (281) | |
| 卸売・小売業 | 1,708 (1,452) | |
| 金融・保険業 | 46 (42) | |
| 不動産業 | 120 (49) | 1 |
| 運輸・通信業 | 62 (58) | |
| 電気・ガス・水道業 | 6 (5) | |
| サービス業 | 759 (666) | 65 |
| 農林・水産業 | 20 (15) | |
| 合 計 | 3,197 (2,727) | 67 |

秋の全国交通安全運動はじまる

「みんなで声をかけ合い、子どもを交通事故から守りましょう」というスローガンをかけ、10月6日から15日までの10日間、全国一斉に秋の交通安全運動がはじまります。

交通事故による死傷者があとを絶たないことは、本



に悲しいことです。大館市内の交通事故を昨年同期(8月まで)の件数と比較してみると、死者が5人の増、重傷傷者にして89件もの事故が増えています。

写真は大通りのラッシュのもようです。ダンプ、自転車、オートバイ、そして人と、とにかく危険がいっぱいです。安全運動の期間に限らず、常に子どもの交通事故防止、酒のみ運転防止、歩行者、自転車の安全な通行には十分気を配って欲しいものです。

自主流通米制度ができました

今秋の産米から、自主流通米制度が発足します。この自主流通米は自由米と違い、政府米と同様に配給計画に組み入れられています。

生産者 は、生産した米を自主流通米として売るときは、自分の登録している集荷業者に委託して売りわたす自主流通米以外には、だれにも米穀を売ることはできません。

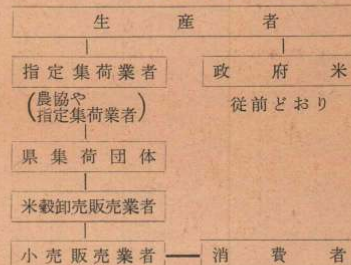
消費者 は、政府米と自主流通米のどちらでも、また、市内のどこのお米屋さんからでも買うことができます(ひとり月15kgの範囲です)

ただし、自主流通米の価格は自由価格になります。また、もち米、徳用米は希望配給になります。

なお、配給の品目と種類は
政府米 の希望配給は徳用米ともち米
基本配給は水稲うるち米の中、内地米、徳用上米、うるち玄米

自主流通米 の希望配給は、もち米
基本配給はうるち米……となります。

<自主流通米の経路>



秋田県総合防災訓練

備えあれば憂なし で貴重な体験を得る



写真 国鉄職員による消火訓練

秋田県と本市が主催した第7回、秋田県総合防災訓練は、9月2日、秋田県知事をはじめ自衛隊、警察署、消防団員、婦人会、医師会など関係者1,500人が参加して本番さながらの防災訓練を行いました。

訓練はまず[9月1日朝、九州に上陸した台風は、9月2日朝にかけ秋田沖西方200kmの海上を通過し、津軽海峡に達した。このため本県は南寄りの風が強まり2日朝にかけ内陸地方で20~25mの強風が吹き、大館付近では最大風速30mに達した。そのため、各地に農作物などかなりの被害がでるとともに、フェーン現象により火災の危険があるため、県内の大部分が火災警報を発令し、警戒中である]という想定のもとに訓練が展開された。

そして、一般市民に対する火災予防の広報活動中、末広町から火災が発生、必死の消火活動にもかかわらず、住家150戸が焼失、さらに、末広町から田町に延焼中大館駅前でも火災が発生、というように、めぐるまじい訓練であったといえます。

この間、北秋、鹿角の消防隊の応援要請、大館郵便局中劇、弘前相互銀行、桂城小、大館駅での避難訓練をはじめ、自衛隊の要請、救急車の出動、日赤看護班や大館医師団の出動、東北電力、電報電話局の出動さらに炊出しやくした婦人会など市民総参加の訓練は非常にスムーズでしかも、熱のこもったものでありました。

一応の火災訓練が終わってから、長木川原で、油類の消火の活動の実演や電話、電灯線の復旧作業の実演のあと参加者(車)の市中行進を行ない、大規模な訓練を終えました。このような訓練は、はじめてのものであっただけに、各種の訓練で得た指令系統や住民の避難、救助作業などに、貴重な体験を得ました。

(日本一の汚名)

密造酒の絶めつをはかろう

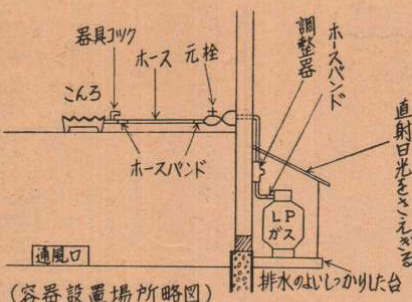
秋田県は、残念ながら、日本一の密造地帯です。とくに大館、北秋地方は県内でも最も多いところとされています。

いうまでもなく、密造酒は造っても、飲んでも、持っても罰せられますし、とくにドロドロは不完全な製法でしかも発見を恐れて不潔な場所で造られるため、フーゼル油や雑菌がいっぱい入っており、寿命を縮めるという恐ろしいものです。

今年も豊作が予想されますが、例年新米が出まわると同時に密造酒が多く造られる傾向にありますので、今年こそは密造酒を「造らない、飲まない、持たない」のこたばを皆んで呼びあって、密造酒のない明るい生活を過したいものです。なお、密造酒は米ばかりでなく、ブドウやリンゴでつくっても密造酒になります。

ただ、アルコール分20度以上の正規の酒(しょうちゅう)に、梅、いちご、みかん、すもも、んにく、くこしそ、くわ、ぐみ、かりん、またたび、さるなし、とちの13種でつくる酒は密造酒ではなく、ご家庭では自由につくれます。

プロパンガスの設置心得



奥さん、プロパンガスの爆発事故が相ついでいます。まい日、気軽に取り扱われているこの便利なプロパンガスも、ちょっとした不注意から、大きな事故をまねくこともありますので、この設置心得を必ず読んでください。

●容器は屋外に置き、屋根から雪などが落ちない所に置くこと。

●屋外にある火気または油類から2m以上離れた場所を選ぶこと。

(使用前の心得)

◎ガスもれがあるかどうかを、において確かめる

◎ガス器具のそばには、マッチ、油類をおかない

◎ゴム管にひび割れが生じているときは新品と交替する

(使用ごの心得)

◎器具のcock. 閉止弁は確実に閉じる

◎外出時や使用後は必ず容器弁を閉じる

(漏えい時の処置)

◎ふ近の火気を消し、一切の火気を近づけない

◎元弁および容器弁を閉める

◎窓・とびらを明け、通風を良くし、ガスのにおいが床面からなくなるまで放出する